

Num

Chapter 22

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

מַעְבָּר מוֹאָב בְּעֶרְבּוֹת וַיִּחַנּוּ יִשְׂרָאֵל בְּנֵי יִסְעָו וַיִּסְעוּ
向こう-側に モアブの 平野に そして-宿営した イスラエルの 子らは そして-出発した
H5676 H4124 H6160 H2583 H3478 H5265

וַיֵּרְדוּ לְיַרְדֵּן
エリコの ヨルダンの
H3405 H3383

さて、イスラエルの人々はまた道を進んで、エリコに近いヨルダンのかなたのモアブの平野に宿営した。

וַיֵּשֶׁה אֲשֶׁר-כָּל-אֵת צִפּוֹר בֶּן-בְּלָק וַיֵּרָא
行った-ことを ~を すべてを (を) ツィポルの 息子-である バラクは そして-見た
H3605 H0853 H6834 H1111 H7200

לְאֹמְרֵי: יִשְׂרָאֵל
アモリ人に イスラエルが
H0567 H3478

チッポルの子バラクはイスラエルがアモリびとにしたすべての事を見たので、

הוּא רַב-כֹּהֵן כִּי מְאֹד הָעָם מִפְּנֵי מוֹאָב וַיִּיָּרֶם
彼らは 多かった なぜなら 非常に 民の ~の前で モアブは そして-恐れた
H1931 H3966 H6440 H4124

יִשְׂרָאֵל: בְּנֵי מִפְּנֵי מוֹאָב וַיִּנְקַז
イスラエルの 子らの ~の前で モアブは そして-うんざりした
H3478 H6440 H4124 H6973

モアブは大いにイスラエルの民を恐れた。その数が多かったためである。モアブはイスラエルの人々をひじょうに恐れたので、

אֵת-הַקְּהָל יִלְחֲכוּ עִתָּהּ מִדִּיָּן וְקִנֵּי אֶל-מוֹאָב וַיֹּאמֶר
(を) この-群れは なめ尽くす 今 ミディアンの 長老たちに ~に モアブは そして-言った
H0853 H6951 H3897 H6258 H4080 H2205 H0413 H4124 H0559

וּבְלָק וְהַשָּׂדֶה יֵרַק אֵת הַשּׁוֹר כְּלַחֵךְ סָבִיבֵינוּ כָּל-
そして-バラクは 野の 草を (を) 牛が なめる-ように 私たちの-周りの すべてを
H1111 H3418 H0853 H7794 H3897 H5439 H3605

הַהוּא: בְּעֵת לְמוֹאָב מֶלֶךְ צִפּוֹר בֶּן-
その 時に モアブの 王であった ツィポルの 息子-である
H1931 H6256 H4124 H4428 H6834

ミディアンの長老たちに言った、「この群衆は牛が野の草をなめつくすように、われわれの周囲の物をみな、なめつくそうとしている」。チッポルの子バラクはこの時モアブの王であった。

אֲשֶׁר	פְּתוּרָה	בְּעוֹר	בֶּן־	בְּלָעַם	אֶל־	מִלְאָכִים	וַיִּשְׁלַח	5	
それは	ペトルに	ベオルの	息子-である	バラムに	～に	使いを	そして-遣わした		
	H6604	H1160			H0413	H4397	H7971		
עַם	הִנֵּה	לְאמֹר	לוֹ	לְקרא־	עַמּוֹ	בְנֵי־	אֶרֶץ	הַנְּהַר	עַל־
民が	見よ	言って	彼を	呼ぶ-ために	彼の-民の	子らの	地に	川の	～の-ほとりに-ある
	H2009	H0559		H7121			H0776	H5104	
יָשָׁב	וְהוּא	הָאָרֶץ	עֵינַי	אֶת־	כִּסָּה	הִנֵּה	מִמִּצְרַיִם	יָצָא	
住んでいる	そして-彼らは	地の	面を	(を)	覆った	見よ	エジプトから	出て-来た	
	H3427	H1931	H0776	H0853	H3680	H2009	H4714	H3318	
								מִמְּלִי:	
								私の-向かいに	
								H4136	

彼はアンモンびとの国のユフラテ川のほとりにあるペトルに使者をつかわし、ベオルの子バラムを招こうとして言わた、
「エジプトから出てきた民があり、地のおもてをおおってわたしの前にいます。」

כִּי־	הִזָּה	הָעַם	אֶת־	לִי	אָרְהָ	נָא	לְכֹה־	וְעַתָּה	6
なぜなら	この	民を	(を)	私の-ために	呪ってください	どうか	来てください	そして-今	
	H2088		H0853		H0779	H4994	H3212	H6258	
וְאִנְרִשְׁנוּ		בּוֹ	נִכְה־	אוּכַל־	אוּלֵי	מִמֶּנִּי	הוּא	עָצוּם	
そして-追い-出そう-彼らを	彼らを	打つ-ことが	できるだろう	たぶん	私よりも	彼らは	強い		
	H1644		H5221	H3201	H0194	H1931	H6099		
מְבֹרָךְ	תְּבָרַךְ	אֲשֶׁר־	אֶת־	יָדַעְתִּי	כִּי	הָאָרֶץ	מִן־		
祝福される	あなたが-祝福する-者は	～を	(を)	私は-知っている	なぜなら	地から	～から		
	H1288	H1288		H0853	H3045	H0776			
				וְיִוָּאֵר:	תֵּאָר	וְאֲשֶׁר			
				呪われる	あなたが-呪う-者は	そして-～を			
				H0779	H0779				

どうぞ今きてわたしのためにこの民をのろってください。彼らはわたしよりも強いのです。そうしてくだされば、われわれは彼らを撃って、この国から追い払うことができるかもしれません。あなたが祝福する者は祝福され、あなたがのろう者はのろわれることをわたしは知っています。」

וּקְסָמִים	מִדְיָן	וְזִקְנֵי	מוֹאָב	זִקְנֵי	וַיֵּלֶכוּ	7	
そして-占いの-報酬を	ミディアンの	そして-長老たちは	モアブの	長老たちは	そして-行った		
	H4080	H2205	H4124	H2205	H3212		
בְּלָק:	דְּבָרֵי	אֵלָיו	וַיְדַבְּרוּ	בְּלָעַם	אֶל־	וַיָּבֹאוּ	בְיָדָם
バラクの	言葉を	彼に	そして-語った	バラムの-もとに	～に	そして-来た	彼らの-手に
	H1697	H0413	H1696		H0413	H0935	H3027

モアブの長老たちとミデアンの長老たちは占いの礼物を手にして出発し、バラムのもとへ行って、バラクの言葉を告げた。

כְּאֲשֶׁר	דְּבָרֵי	אֲתָכֶם	וְהִשְׁבַּתִּי	הַלַּיְלָה	פֹּה	לִינִי	אֲלֵיהֶם	וַיֹּאמֶר	8
～のように	答えを	あなたがたに	そして-返す	今夜	ここに	泊まれ	彼らに	そして-言った	
	H1697	H0853	H7725	H3915	H6311		H0413	H0559	
	בְּלָעַם:	עִם־	מוֹאָב	שָׂרֵי־	וַיִּשְׁבוּ	אֵלַי	וַיהוָה	דְּבָרֵי	
	バラムと	～と-共に	モアブの	首領たちは	そして-とどまった	私に	主が	語る	
			H4124	H8269	H3427	H0413	H3068	H1696	

バラムは彼らに言った、「今夜ここに泊まりなさい。主がわたしに告げられるとおりに、あなたがたに返答しましょう。」。それでモアブのつかさたちはバラムのもとにとどまった。

הָאֱלֹהִים וַיָּבֹא אֵלֶיךָ בְּלַעַם וַיֹּאמֶר מִי הָאֲנָשִׁים הָאֵלֶּה
 これらの 人々は 誰が そして-言った バラムの ~の-もとに 神が そして-来た
 H0428 H0376 H4310 H0559 H0413 H0430 H0935

עִמָּךְ:
 あなたと-共に-いる

ときに神はバラムに臨んで言われた、「あなたのところにいるこの人々はだれですか」。

מֹאָב מֶלֶךְ צִפּוֹר בֶּן-בְּלָק הָאֱלֹהִים אֵלֶיךָ בְּלַעַם וַיֹּאמֶר
 モアブの 王-である ツィポルの 息子-である バラクが 神に ~に バラムは そして-言った
 H4124 H4428 H6834 H1111 H0430 H0413 H0559

שָׁלַח אֵלַי:
 私に 遣わした
 H0413 H7971

バラムは神に言った、「モアブの王チッポルの子バラクが、わたしに人をよこして言いました」。

הַיּוֹם הַיּוֹם הָיְתָא מִמִּצְרַיִם הָאֲרֶץ הַזֹּאת וַיִּכֶסּוּ עֵינַי הָאָרֶץ עַתָּה
 今日 地の 面を (を) そして-覆った エジプトから 出-来た 民が 見よ
 H6258 H0776 H0853 H3680 H4714 H3318 H2009

לָכֵן קְבֹה-לִי אֶת-אֹיְבֵי לְהִלָּחֵם בּוֹ
 彼らと 戦う-ことが できるだろう たぶん 彼らを 私の-ために 呪ってください 来てください
 H3201 H0194 H0853 H6895 H3212

וַיִּרְשָׁתוּ:
 そして-追い-出そう-彼らを
 H1644

『エジプトから出てきた民があり、地のおもてをおおっています。どうぞ今きてわたしのために彼らをのろってください。そうすればわたしは戦って、彼らを追い払うことができるかもしれません』」。

וַיֹּאמֶר אֱלֹהִים אֵלֶיךָ בְּלַעַם לֹא תֵאָדָר עִמָּהֶם לֹא תֵלָךְ לֹא
 (を) 呪っては ない 彼らと-共に 行っては ない バラムに ~に 神は そして-言った
 H0853 H0779 H3808 H3212 H3808 H0413 H0430 H0559

הֵם כִּי הוּא:
 彼らは 祝福されている なぜなら 民を
 H1931 H1288

神はバラムに言われた、「あなたは彼らと一緒に行ってはならない。またその民をのろってはならない。彼らは祝福された者だからである」。

וַיֹּאמֶר בְּבֹקֶר בְּלַעַם וַיָּקָם וַיָּבֹא אֵלֶיךָ בְּלָק שָׂרֵי אֲלֵי
 ~に 帰れ バラクの 首領たちに ~に そして-言った 朝に バラムは そして-起きた
 H0413 H3212 H1111 H8269 H0413 H0559 H1242

אֲרָצְכֶם מִן-יְהוָה כִּי מָאֵן
 あなたがたの-地に 行く-ことを 私が-行く-ことを 主が 拒んだ なぜなら
 H1980 H5414 H3068 H3985 H0776

明るる朝起きて、バラムはバラクのつかさたちに言った、「あなたがたは国にお帰りなさい。主はわたしがあなたがたと一緒に行くことを、お許しになりません」。

מֵאֵן וַיֹּאמְרוּ בָרַק אֶל-וַיָּבֹאוּ מוֹאָב שָׂרֵי וַיִּקְוּמוּ 14
 拒んだ そして-言った バラクの ~の-もとに そして-来た モアブの 首領たちは そして-起ちた
[H03985](#) [H0559](#) [H1111](#) [H0413](#) [H0935](#) [H4124](#) [H8269](#)

עִמָּנוּ: הֵלֵךְ בְּלָעַם
 私たちと-共に 行く-ことを バラムは
[H1980](#)

モアブのつかさたちは立ってバラクのもとに行き言った、「バラムはわたしたちと一緒に来ることを承知しません」。

מֵאֲלֵהֶם: וַיִּסָּף עוֹד בָּרַק וַיִּסָּף וַיִּכְבְּדִים רַבִּים שָׂרִים שְׁלַח בָּרַק וַיִּסָּף 15
 これらよりも そして-尊い 多くの 首領たちを 遣わす-ことを バラクは また そして-再び-した
[H0428](#) [H3513](#) [H8269](#) [H7971](#) [H1111](#) [H5750](#) [H3254](#)

バラクはまた前の者よりも身分の高いつかさたちを前よりも多くつかわした。

בָּרַק וַיָּבֹאוּ אֶל-בְּלָעַם וַיֹּאמְרוּ לוֹ כֹּה אָמַר בָּרַק 16
 バラクが 来た ~の-もとに そして-来た バラムの ~の-もとに
[H1111](#) [H0559](#) [H3541](#) [H0559](#) [H0413](#) [H0935](#)

אֵלַי: תִּמְנַע נָא אֶל-צִפּוֹר בֶּן-צִפּוֹר מִהֵלֵךְ אִתִּי
 私の-もとに 拒まないでください どうか ない ツィポルの 息子-である
[H0413](#) [H1980](#) [H4513](#) [H4994](#) [H0408](#) [H6834](#)

彼らはバラムのところへ行って言った、「チツポルの子バラクはこう申します、『どんな妨げをも顧みず、どうぞわたしのところへおいでください』」。

כִּי-כִבֵּד אֶכְבְּדֶךָ מְאֹד וְכָל-אֲשֶׁר-תֹּאמַר אֵלַי אֶעֱשֶׂה 17
 行う 私に あなたが-言う ~を そして-すべての 非常に 重く-もてなす 必ず なぜなら
[H0413](#) [H0559](#) [H3605](#) [H3966](#) [H3513](#) [H3513](#)

וְלִכְהֵ-נָא קְבֹהָ לִי אֶת-הָעָם הַזֶּה:
 そして-来てください どうか どうか
[H6895](#) [H4994](#) [H3212](#)

わたしはあなたを大いに優遇します。そしてあなたがわたしに言われる事はなんでもいたします。どうぞきてわたしのためにこの民をのろってください』」。

וַיַּעַן בְּלָעַם וַיֹּאמֶר אֶל-עַבְדֵי בָרַק אִם-יִתֵּן לִי 18
 バラムは そして-答えた
[H5414](#) [H1111](#) [H5650](#) [H0413](#) [H0559](#)

בָּרַק מָלֵא בֵיתוֹ כֶּסֶף וְזָהָב לָא אֹכֵל לְעֵבֵר אֶת-פִּי 19
 バラクが 満たして 彼の-家を 銀と 金で できない 越える-ことが (を) 命令を
[H6310](#) [H0853](#) [H3201](#) [H3808](#) [H2091](#) [H3701](#) [H4393](#) [H1111](#)

יְהוָה אֱלֹהֵי לַעֲשׂוֹת אִו קְטָנָה גְדוֹלָה:
 私の-神の 主の 行う-ことが 小さい-ことも あるいは 大きい-ことも
[H0430](#) [H3068](#)

しかし、バラムはバラクの家来たちに答えた、「たといバラクがその家に満ちるほどの金銀をわたしに与えようとも、事の大小を問わず、わたしの神、主の言葉を越えては何もすることができません。

וַעֲתָה שָׁבוּ נָא בְּנֵה גַם-אֲתָם הַלַּיְלָה וְאֲדַעְתָּ מָה-יִסָּף 19
 そして-今 とどまれ どうか ここに ~も あなたがたも 今夜
[H3254](#) [H4100](#) [H3045](#) [H3915](#) [H1571](#) [H2088](#) [H4994](#) [H3427](#) [H6258](#)

יְהוָה דַּבֵּר עִמָּי:
 主が 語るか 私に
[H1696](#) [H3068](#)

それで、どうぞ、あなたがたも今夜ここにとどまって、主がこの上、わたしになんと仰せられるかを確かめさせてください」。

20

לְקַרְא	אִם-	לוֹ	וַיֹּאמֶר	לַיְלָה	בְּלַעַם	אֶל-	וְאֱלֹהִים	וַיָּבֹא	
呼ぶ-ために	もし	彼に	そして-言った	夜に	バラムの	~の-もとに	神が	そして-来た	
H7121			H0559	H3915		H0413	H0430	H0935	
אֲשֶׁר-	הַדְּבָר	אֶת-	וְאֵךְ	אַתֶּם	לָךְ	קוּם	הָאֲנָשִׁים	בָּאוּ	לָךְ
わたしが	言葉を	(を)	ただし	彼らと-共に	行け	起て	人々が	来たのなら	あなたを
	H1697	H0853	H0389	H0854	H3212		H0376	H0935	
							אֶתְּךָ	אֵלַיךְ	אֲדַבֵּר
							行え	それを	あなたに
							H0853	H0413	H1696

夜になり、神はバラムに臨んで言われた、「この人々はあなたを招きに来たのだから、立ってこの人々と一緒に行きなさい。ただしわたしが告げることだけを行わなければならない」。

21

וַיֵּלֶךְ	אַתְנֹו	אֶת-	וַיַּחַבֵּשׁ	בַּבֹּקֶר	בְּלַעַם	וַיָּקָם			
そして-行った	彼の-ろばに	(を)	そして-鞍を-置いた	朝に	バラムは	そして-起きた			
H3212	H0860	H0853	H2280	H1242					
							מֹאָב:	שָׂרֵי	עִם-
							モアブの	首領たちと	~と-共に
							H4124	H8269	

明るる朝起きてバラムは、ろばにくらをおき、モアブのつかさたちと一緒にいった。

22

מַלְאָךְ	וַיַּתְנִיב	הוּא	הוֹלֵךְ	כִּי-	אֱלֹהִים	אַף	וַיִּחַר-		
御使いが	そして-立ちはだかった	彼が	行っていた	なぜなら	神の	怒りが	そして-燃えた		
H4397	H3320	H1931	H1980		H0430	H0639	H2734		
וּשְׁנֵי	אַתְנֹו	עַל-	רֶכֶב	וְהוּא	לוֹ	לְשֹׁטְן	בְּדַרְךְ	יְהוָה	
そして-二人の	彼の-ろばに	~の-上に	乗って-いた	そして-彼は	彼に	敵対者として	道に	主の	
H8147	H0860		H7392	H1931		H7854	H1870	H3068	
							עִמוּ:	נְעָרָיו	
							彼と-共に	彼の-僕が	
								H5288	

しかるに神は彼が行ったために怒りを発せられ、主の使は彼を妨げようとして、道に立ちふさがっていた。バラムは、ろばに乗り、そのしもべふたりも彼と共にいたが、

23

שְׁלוּפָה	וַיִּחַרְפוּ	בְּדַרְךְ	נֹצֵב	יְהוָה	מַלְאָךְ	אֶת-	הָאֲתוֹן	וַתֵּרֶא	
抜かれて	そして-彼の-剣が	道に	立って-いる	主の	御使いを	(を)	ろばは	そして-見た	
H8025	H2719	H1870	H5324	H3068	H4397	H0853	H0860	H7200	
בְּלַעַם	וַיִּךְ	בְּשֵׁרָה	וַתֵּלֶךְ	הַדְּרָךְ	מִן-	הָאֲתוֹן	וַתֵּט	בְּיָדוֹ	
バラムは	そして-打った	焔に	そして-行った	道から	~から	ろばは	そして-それた	彼の-手に	
	H5221		H3212	H1870		H0860	H5186	H3027	
							לְהַטִּיחַ	הָאֲתוֹן	אֶת-
							道に	ろばを	(を)
							H1870	H5186	H0860
								H0853	

ろばは主の使が、手に抜き身のつるぎをもって、道に立ちふさがっているのを見、道をそれて焔にはいったので、バラムは、ろばを打って道に返そうとした。

24

מְזָה:	וַיִּגְדֵר	מְזָה	גִּדְרָה	הַכְּרָמִים	בְּמִשְׁעוֹל	יְהוָה	מַלְאָךְ	וַיַּעֲמֵד	
あちらに	そして-壁が	こちらに	壁が	ぶどう園の	小道に	主の	御使いは	そして-立った	
H2088	H1447	H2088	H1447	H3754	H4934	H3068	H4397	H5975	

אֲשֶׁר־ אַתָּנָךְ אֲנֹכִי הֲלוֹא בְלָעַם אֶל־ הָאֶתוֹן וַתֹּאמֶר 30
 あなたが あなたの-ろばである 私は ~ではないか バラムに ~に ろばは そして-言った
[H0860](#) [H0595](#) [H3808](#) [H0413](#) [H0860](#) [H0559](#)

הֲסָכֵנִי הֲסָכֵנִי הַזֶּה הַיּוֹם עַד־ מְעוֹדֶךָ עָלַי רָכַבְתָּ
 した-ことが-あるか いつも この 日まで ~まで あなたの-生涯-ずっと 私の-上に 乗って-きた
[H5532](#) [H5532](#) [H2088](#) [H3117](#) [H5704](#) [H5750](#) [H7392](#)

לֵא: וַיֹּאמֶר כֹּה לָךְ לַעֲשׂוֹת
 いいえ そして-言った このように あなたに する-ことを
[H3808](#) [H0559](#) [H3541](#)

ろばはまたバラムに言った、「わたしはあなたが、きょうまで長いあいだ乗られたろばではありませんか。わたしはいつでも、あなたにこのようにしたでしょうか」。バラムは言った、「いや、しなかった」。

יְהוָה מְלֹאךְ אֶת־ וַיֵּרָא בְלָעָם עֵינָיו אֶת־ יְהוָה וַיִּגַּל 31
 主の 御使いを (を) そして-見た バラムの 目を (を) 主は そして-開いた
[H3068](#) [H4397](#) [H0853](#) [H7200](#) [H0853](#) [H3068](#) [H1540](#)

וַיִּשְׁתַּחוּ וַיִּקַּד בְּיָדוֹ שָׁלַפָּה וַתִּרְבֵּן בְּדֶרֶךְ נֹצֵב
 そして-ひざまずいた そして-ひれ伏した 彼の-手に 抜かれて そして-彼の-剣が 道に 立って-いる
[H7812](#) [H6915](#) [H3027](#) [H8025](#) [H2719](#) [H1870](#) [H5324](#)

לְאַפָּיו?
 彼の-顔の-上に
[H0639](#)

このとき主がバラムの目を開かれたので、彼は主の使が手に抜き身のつぎをもって、道に立ちふさがっているのを見て、頭を垂れてひれ伏した。

אַתָּנָךְ אֶת־ הַכִּיָּת מָה עַל־ יְהוָה מְלֹאךְ אֵלָיו וַיֹּאמֶר 32
 あなたの-ろばを (を) 打ったのか 何の-ために なぜ 主の 御使いは 彼に そして-言った
[H0860](#) [H0853](#) [H5221](#) [H4100](#) [H3068](#) [H4397](#) [H0413](#) [H0559](#)

הַדֶּרֶךְ יָרַט כִּי־ לְשׂוֹן יֵצְאָתִי אֲנֹכִי הִנֵּה רְגָלַיִם שְׁלוֹשׁ זֶה
 道が 逆らった なぜなら 敵対者として 出て-来た 私は 見よ 度も 三 この
[H1870](#) [H7854](#) [H3318](#) [H0595](#) [H2009](#) [H7272](#) [H7969](#) [H2088](#)

לְנִדְרֵי:
 私の-前で
[H5048](#)

主の使は彼に言った、「なぜあなたは三度もろばを打ったのか。あなたが誤って道を行くので、わたしはあなたを妨げようとして出てきたのだ。

אֵלָיו וַתֵּרָאֵנִי הָאֶתוֹן וַתֵּרָאֵנִי 33
 たぶん 度 三 この 私の-前から そして-それた ろばは そして-見た-私を
[H0194](#) [H7272](#) [H7969](#) [H2088](#) [H6440](#) [H5186](#) [H0860](#) [H7200](#)

וְאוֹתָהּ הֲרַגְתִּי אֲתָכָה גַם־ עַתָּה כִּי מִפְּנֵי נִשְׁתָּה
 そして-それを 殺していた あなたを ~も 今こそ なぜなら 私の-前から それなかったら
[H0853](#) [H2026](#) [H0853](#) [H1571](#) [H6258](#) [H6440](#) [H5186](#)

הַחַיִּיתִי:
 生かしていた
[H2421](#)

ろばはわたしを見て三度も身を巡らしてわたしを避けた。もし、ろばが身を巡らしてわたしを避けなかったなら、わたしはきっと今あなたを殺して、ろばを生かしておいたであろう」。

יָדַעְתִּי לֹא כִי חָטָאתִי יְהוָה מַלְאָךְ אֶל־ בְּלָעָם וַיֹּאמֶר 34
 知らなかった ない なぜなら 私は-罪を-犯した 主の 御使いに ~に バラムは そして-言った
[H3045](#) [H3808](#) [H2398](#) [H3068](#) [H4397](#) [H0413](#) [H0559](#)

רַע אִם־ וְעַתָּה בְּדֶרֶךְ לִקְרָאתִי נֹצֵב אַתָּה כִּי
 悪いなら もし そして-今 道で 迎えに-私を 立って-いた-ことを あなたが それを
[H6258](#) [H1870](#) [H7125](#) [H5324](#)

לִי אֲשׁוּבָה בְּעֵינַי
 私は 引き-返そう あなたの-目に
[H7725](#)

バラムは主の使に言った、「わたしは罪を犯しました。あなたがわたしをとどめようとして、道に立ちふさがっておられるのを、わたしは知りませんでした。それで今、もし、お気に召さないのであれば、わたしは帰りましょう」。

אֶת־ וְאַפְסִי הָאֲנָשִׁים עִם־ לָךְ בְּלָעָם אֶל־ יְהוָה מַלְאָךְ וַיֹּאמֶר 35
 (を) ただし 人々と ~と-共に 行け バラムに ~に 主の 御使いは そして-言った
[H0853](#) [H0376](#) [H3212](#) [H0413](#) [H3068](#) [H4397](#) [H0559](#)

שָׂרֵי עִם־ בְּלָעָם וַיֵּלֶךְ תְּדַבֵּר אֵתְּוֹ אֵלַיְךָ אֲדַבֵּר אֲשֶׁר־ הַדְּבָרַי
 首領たちと ~と-共に バラムは そして-行った 語れ それを あなたに 語る わたしが 言葉を
[H8269](#) [H3212](#) [H1696](#) [H0853](#) [H0413](#) [H1696](#) [H1697](#)

בְּלֶק:
 バラクの
[H1111](#)

主の使はバラムに言った、「この人々と一緒に行きなさい。ただし、わたしが告げることのみを述べなければならぬ」。こうしてバラムはバラクのつかさたちと一緒にいった。

עִיר אֶל־ לִקְרָאתוֹ וַיֵּצֵא בְלָעָם בָּא כִי בְלָק וַיִּשְׁמַע 36
 町に ~に 迎えに-彼を そして-出た バラムが 来た-ことを それを バラクは そして-聞いた
[H0413](#) [H7125](#) [H3318](#) [H0935](#) [H1111](#) [H8085](#)

הַנְּבוּלָה: בְּקֶצֶה אֲשֶׁר אֲרֹנוֹן נְבוּלָה עַל־ אֲשֶׁר מוֹאָב
 境の 端に-ある それは アルノンの 境の ~の-上に-ある それは モアブの
[H1366](#) [H0769](#) [H1366](#) [H4124](#)

さて、バラクはバラムがきたと聞いて、国境のアルノン川のほとり、国境の一端にあるモアブの町まで出て行って迎えた。

שָׁלַחְתִּי שָׁלַח הֲלֹא בְלָעָם אֶל־ בְּלָק וַיֹּאמֶר 37
 遣わしたのではないか-私は 確かに ~ではないか バラムに ~に バラクは そして-言った
[H7971](#) [H7971](#) [H3808](#) [H0413](#) [H1111](#) [H0559](#)

לֹא הֲאִמְנָם אֵלַי הֲלָכְתָּ לֹא לָמָּה לָךְ לִקְרָא־ אֵלַיְךָ
 ない 本当に 私の-もとに 来なかったのか ない なぜ あなたを 呼ぶ-ために あなたに
[H3808](#) [H0552](#) [H0413](#) [H1980](#) [H3808](#) [H4100](#) [H7121](#) [H0413](#)

כִּבְדֶּךָ: אוֹכַל
 もてなす-ことが-あなたを できないのか
[H3513](#) [H3201](#)

そしてバラクはバラムに言った、「わたしは人をつかわしてあなたを招いたではありませんか。あなたはなぜわたしのところへきませんでしたか。わたしは実際あなたを優遇することができないでしょうか」。

38

הִיכֹל	עַתָּה	אֵלֶיךָ	בָּאתִי	הִנֵּה	בָּלַק	אֶל-	בְּלָעָם	וַיֹּאמֶר	
できる-のか	今	あなたの-もとに	来た-のだ	見よ	バラクに	~に	バラムは	そして-言った	
H3201	H6258	H0413	H0935	H2009	H1111	H0413		H0559	

אָדָּכָר:	אתו	בְּפִי	אֱלֹהִים	יִשֵּׁם	אֲשֶׁר	הַדְּבָר	מֵאִמָּה	דְּבַר	אוּכַל
語る	それを	私の-口に	神が	置く	それは	言葉を	何かを	語る-ことが	できるのか
H1696	H0853	H6310	H0430			H1697	H3972	H1696	H3201

バラムはバラクに言った、「ごらん下さい。わたしはあなたのところにきています。しかし、今、何事かをみずから言うことができましょうか。わたしはただ神がわたしの口に授けられることを述べなければなりません」。

39

חַצְוֹת:קְרִית	וַיָּבֹאוּ	בָּלַק	עִם-	בְּלָעָם	וַיֵּלֶךְ	
キルヤト-フツォトに	そして-来た	バラクと	~と-共に	バラムは	そして-行った	
H7155	H0935	H1111			H3212	

こうしてバラムはバラクと一緒にいき、キリアテ・ホソテにきたとき、

40

וּלְשָׂרִים	לְבָלָעָם	וַיִּשְׁלַח	וַצֹּאן	בָּקָר	בָּלַק	וַיַּזְבַּח	
そして-首領たちに	バラムに	そして-送った	そして-羊を	牛と	バラクは	そして-屠った	
H8269		H7971	H6629	H1241	H1111	H2076	
					אֶתוֹ:	אֲשֶׁר	
					彼と	彼と-共に-いる	
					H0854		

バラクは牛と羊とをほふって、バラムおよび彼と共にいたバラムを連れてきたつかさたちに贈った。

41

וַיַּעֲלֵהוּ	בְּלָעָם	אֶת-	בָּלַק	וַיִּקַּח	בְּבֹקֶר	וַיְהִי	
そして-上らせた-彼を	バラムを	(を)	バラクは	そして-取った	朝に	そして-なった	
H5927		H0853	H1111	H3947	H1242	H1961	
		הָעָם:	קֶצֶה	מִשָּׁם	וַיֵּרָא	בְּעַלְבָמוֹת	
		民の	端を	そこから	そして-見た	バモト-バアルに	
				H8033	H7200	H1120	

明るる朝バラクはバラムを伴ってバモテバアルにのぼり、そこからイスラエルの民の宿営の一端をながめさせた。